



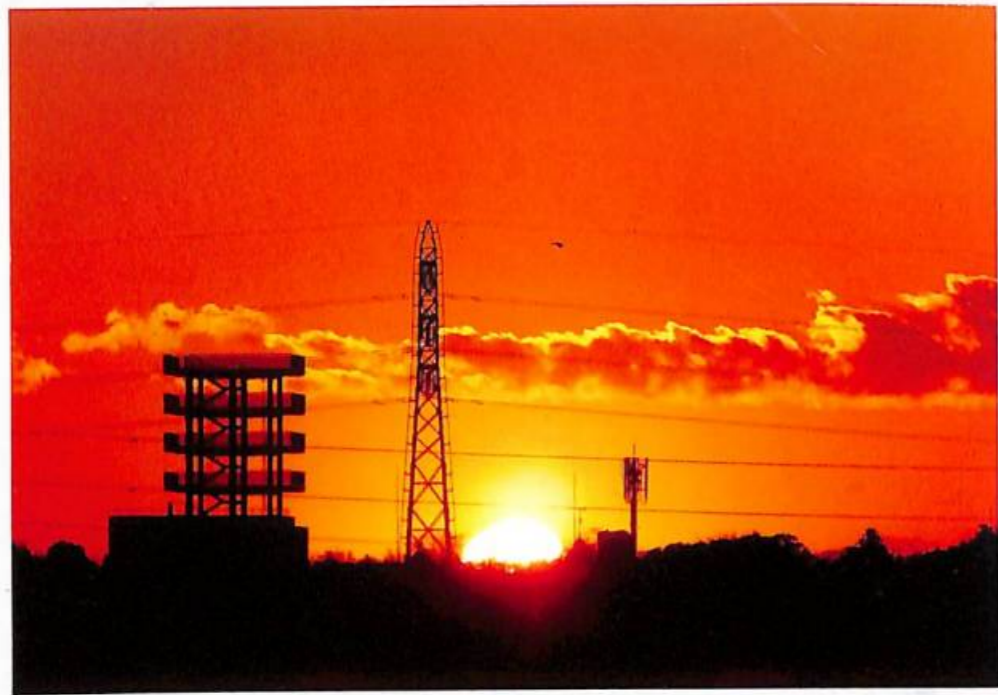
市原市 八幡

初日の出と初夕陽

市原市八幡北町で

平成31年1月

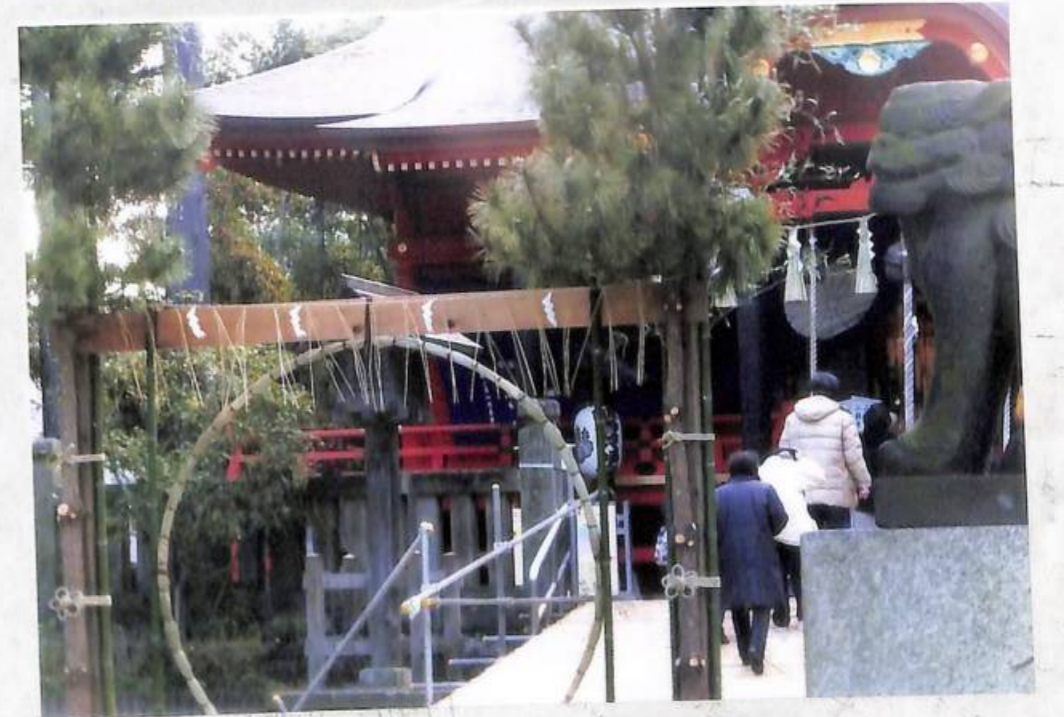
八幡史学館チーム



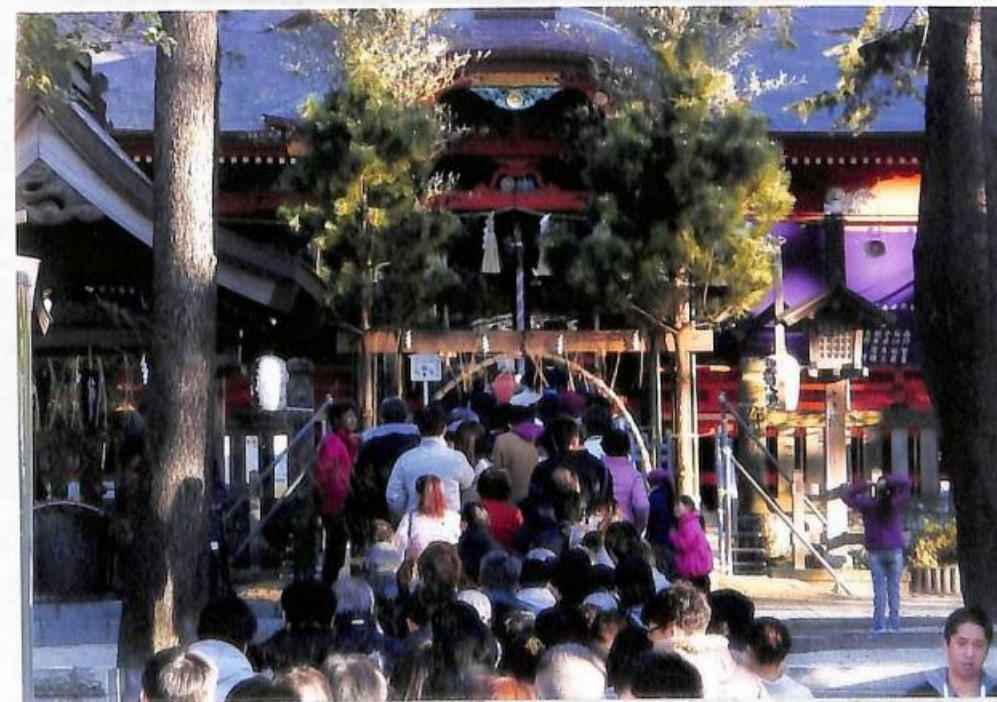
Q



Q







D



読売新聞千葉版

「八幡公民館創立 70 周年の黎明」展

掲載日 = 1 月 9 日

担当記者 = 尾藤泰平氏
同席者 = 池田館長

平成 3 1 年 1 月

八幡史学館チーム
市原の古文書研究会

「八幡公民館創立 70 年の黎明」展示会について
(取材のお願い)

市原市立八幡公民館運営委員会

八幡公民館は、昭和 23 年戦後の郷土復興と町づくりを旗印に誕生、地域文化の殿堂としての役割をはたしながらことし創立 70 周年を迎えました。また、本年 11 月には、昭和 24 年以来 69 年ぶり 2 度目の文部科学大臣表彰、全国「優良公民館」を受賞しました。本展では創設期を中心にその歴史を振り返ります。

1) 「八幡公民館 70 年の黎明」展 = 日時と会場

日時 = 平成 30 年 12 月 22 日 (13 時) ~ 1 月 10 日 13 時

会場 = JR 八幡宿駅構内 市原市民ギャラリー (自由見学、無料)

主催 = 市原市立八幡公民館運営委員会

主管 = 八幡史学館チーム、市原の古文書研究会

2) 主な展示品 (みどころ)

旧公民館模型 (平面図にもとづいて 20 分の 1 に復元)、浅見喜舟先生板書 (旧公民館板戸 = 八幡町建設のうた、座右の銘)、旧公民館アルバム、文科大臣表彰状 2 点、GHQ 軍政部表彰状、山口達先生大天井絵写真、その他関係資料、写真、解説パネル。八幡公民館をはぐくんだ八幡町、八幡海岸の思い出写真など。

3) 見学者配布用説明パンフレット (試作版)

参考資料として同封

4) 問い合わせ先

展示会担当 (主管チーム代表)

山岸弘明 080-6668-2237

以上



千葉支局

記者 尾藤 泰平
び どう たい へい

千葉支局 〒260-0013 千葉市中央区中央4-15-1 Tel 043-225-2001
Fax 043-225-2190
直通 070-4089-5854
E-mail: bito4853@yomiuri.com

12/29?



あいチャンネル番組

「八幡公民館創立70周年の黎明」展

放映日 = 1月25日 ~ 2月5日

各12時、17時、20時

制作担当 = 一場貴裕氏

25分5回、お中元15分用

平成31年1月

八幡史学館チーム
市原の古文書研究会

いちほらコミュニティネットワークテレビ

制作部 一場様

「八幡公民館創立70年の黎明」展示会について

(取材のお願い)

市原市立八幡公民館運営委員会

八幡公民館は、昭和23年戦後の郷土復興と町づくりを旗印に誕生、地域文化の殿堂としての役割をはたしながらことし創立70周年を迎えました。また、本年11月には、昭和24年以来69年ぶり2度目の文部科学大臣表彰、全国「優良公民館」を受賞しました。本展では創設期を中心にその歴史を振り返ります。

1) 「八幡公民館70年の黎明」展＝日時と会場

日時＝平成30年12月22日(13時)～1月10日13時

会場＝JR八幡宿駅構内 市原市民ギャラリー(自由見学、無料)

主催＝市原市立八幡公民館運営委員会

主管＝八幡史学館チーム、市原の古文書研究会

2) 主な展示品(みどころ)

旧公民館模型(平面図にもとづいて20分の1に復元)、浅見喜舟先生板書(旧公民館板戸＝八幡町建設のうた、座右の銘)、旧公民館アルバム、文科大臣表彰状2点、GHQ軍政部表彰状、山口達先生大天井絵写真、その他関係資料、写真、解説パネル。八幡公民館をはぐくんだ八幡町、八幡海岸の思い出写真など。

3) 見学者配布用説明パンフレット(試作版)

参考資料として同封

4) 問い合わせ先

展示会担当(主管チーム代表)

山岸弘明 080-6668-2237

以上

12月22日 取材
1月25日 放映





主催:市原市立八幡公民館運営委員会
主管:八幡史学館チーム、市原の古文書研究会

FUJITSU



平成30年12月22日～平成31年1月10日
JR八幡宿駅構内 市民ホール

FUJITSU



八幡史学館
山岸 弘明 展

DVD+VTR



八幡公民館 創立70周年記念之展



平成30年(2018) 創立70周年を迎えました



平成30年12月22日～平成31年1月10日
JR八幡宿駅構内 市民ホール



八幡公民館 創立70年の黎明



主催:市原市立八幡公民館運営委員会
主管:八幡史学館チーム、市原の古文書研究会

FUJITSU



昭和23年(1948) 八幡公民館創立

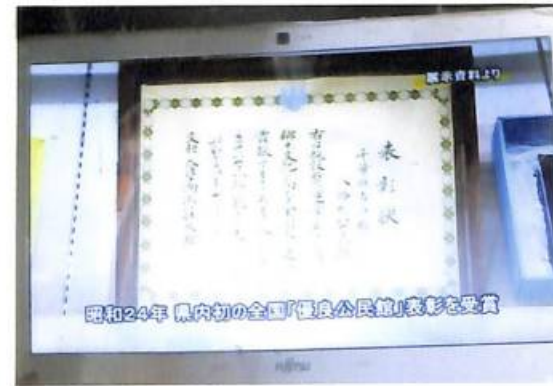
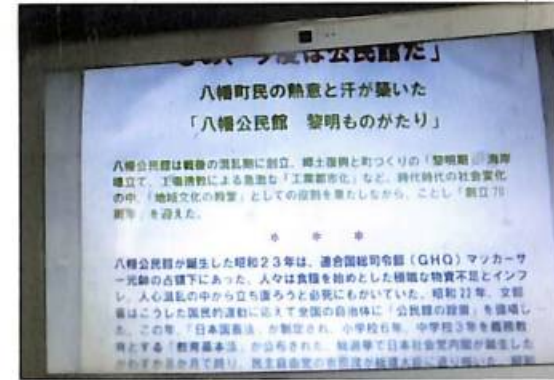
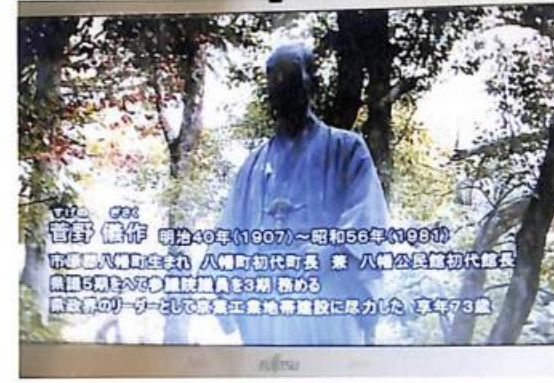


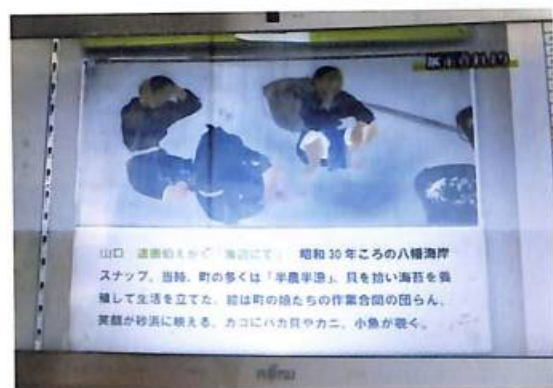
会期中 八幡公民館創立時の歴史文書が展示されました

FUJITSU



公民館開館式







大天井が特徴である旧八幡公民館建築の写真



現在も八幡公民館ロビーに展示されています



昭和47年 現在地(八幡中学校跡地)へ新築移転
昭和51年 体育館も追加建設し地域住民の学習
コミュニティの役割を担う
平成23年 市から指定管理者へ運営を移行



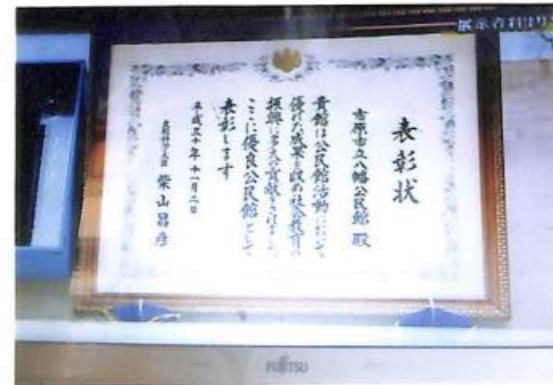
八幡公民館創立70周年記念事業
八幡公民館 創立70年の探訪



主催 市原市立八幡公民館運営委員会
主幹 八幡史学愛好会、市原の古文書研究会



八幡公民館創立70周年記念事業
八幡公民館 創立70年の探訪



表彰状



創立当時の貴重な記録を残す「公民館新聞」



賞状と表彰状を手にする林教育長
と安藤会長、池田館長
八幡公民館 池田 好徳 館長
八幡公民館運営委員会 林 克 委員長
八幡公民館運営委員会 安藤 雄男 運営委員長



昭和23年当時の「八幡史学」

市原市立

「八幡公民館創立 70 周年の黎明」展

- ①公民館文化祭
- ②八幡宿駅ギャラリー
- ③公民館 1 階ロビー

平成 30 年 12 月ほか

市原の古文書研究会
八幡史学館チーム

市原市立
「八幡公民館創立 70 周年の黎明」展

平成 30 年 12 月 22 日から
1 月 10 日まで
八幡宿駅ギャラリー

平成 30 年 12 月

市原の古文書研究会
八幡史学館チーム

公印	課長	主幹	係長	係

別記

第1号様式(第3条2)

市原市市民ギャラリー展示許可申請書

平成30年12月8日

市原市教育委員会 様

住所 〒290-0062 千葉県市原市八幡1050番地1

ふりがな

あんどう じわら

申請者

氏名

会長 安藤岩男

印

ふりがな

いちばらレリフヤわたのしみんかんらんかい

団体名

市原市立八幡公民館運営委員会

電話番号

0436(41)1984

次のとおり市原市民ギャラリーに展示したいので、許可くださるよう申請いたします。

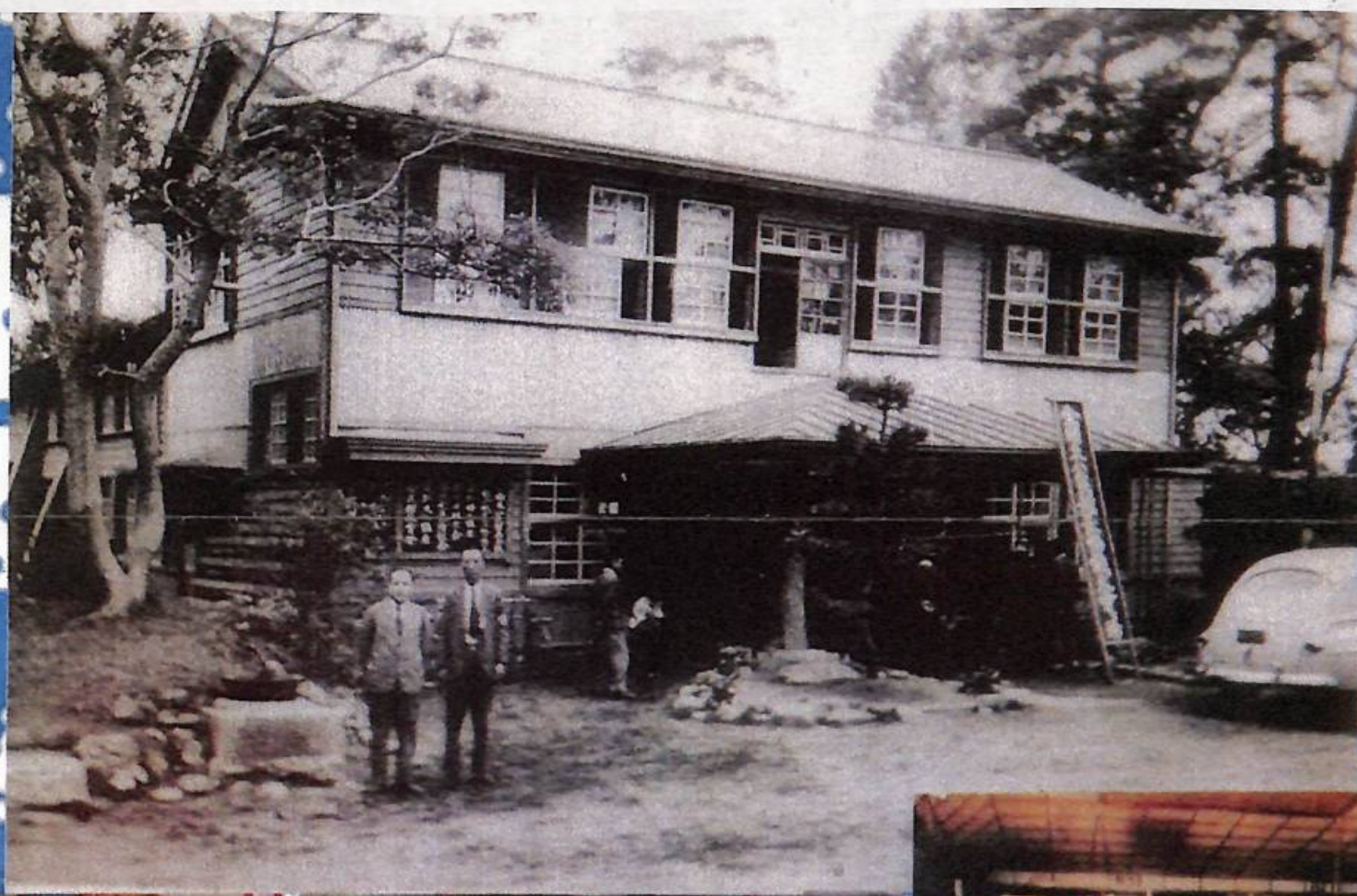
展示希望場所	1. 市民ギャラリー(姉ヶ崎駅) ② 市民ギャラリー(八幡宿駅)		
展示申請期間	平成30年12月21日～平成31年1月10日(21日間)		
展示目的	八幡公民館の黎明期の歴史を振り返ることにより、公民館と地域の結びつきを再確認し、交流をより深める。		
展示内容	八幡公民館の黎明期を紹介する写真、各種資料等の展示及び解説。		
ふりがな	いけだ じゅん	連絡先	41-1984
展示責任者	池田好徳		

八幡公民館創立70周年記念事業

八幡公民館創立70年の黎明

69年ぶり2度目の文科大臣表彰

本年度「全国優良公民館」受賞



旧八幡公民館模型



浅見喜舟「八幡町建設の歌」



日時: 12月22日(土)~1月10日(木) 13時

会場: 八幡宿駅 市民ギャラリー

主催: 八幡公民館運営委員会

主管: 八幡史学館チーム・市原の古文書研究会

1948
やわた公民館

八幡公民館創立70周年記念事業 八幡公民館 創立70年の黎明

69年ぶり2度目の全国「優良公民館」受賞
～平成30年度「文部科学大臣表彰」～



①



②

Since
1948
やわた公民館



③

写真①＝戦後の混乱期、八幡町民の血と汗、勤労奉仕で築いた旧公民館
写真②＝公民館行事に1、2階吹き抜けの講堂を埋め尽くした町の人たち
写真③＝八幡公民館創立当時の八幡海岸

平成30年12月22日(土)～1月10日(木) 13時
会場* JR八幡宿駅構内「市民ギャラリー」
主催* 市原市立八幡公民館運営委員会
主管* 八幡史学館チーム、市原の古文書研究会



賞状と表彰楯を手にする林教育長と安藤会長、池田館長

創立70周年を彩る2枚の文科大臣賞状

昭和24年、全国「優良公民館」文部大臣表彰(前回)
平成30年、全国「優良公民館」文部科学大臣表彰(今回)

八幡公民館は昭和23年に千葉県2番目の公民館として、戦後復興と町づくり、人づくりを旗印に開館した。(中略)かつて八幡は水陸交通の要衝として発達した歴史文化の町である。「八幡史学館」は郷土の歴史資料を掘り起しその背景を学ぶことにより、地域への理解と愛着を深めることを目的としている。資料も豊富で貴重なものも多く内容も充実している。(中略)地域の活性化を図るとともに上記事業に代表されるような様々な講座の充実を図り、よりよい公民館活動を目指している。(文部科学省発表資料から)



前回(上)と今回表彰状



表彰状

表彰楯

町民の血と汗で築いた旧公民館～八幡公民館関連年表～

年月日	八幡公民館と八幡、主な関連できごと	年月日	八幡公民館と八幡、主な関連できごと
昭和22年11月26日	八幡宮境内で八幡中学校地鎮祭を挙行	昭和30年3月31日	菊間村と合併市原町となる
" 23年3月	八幡中学校新校舎落成	" 5月	町長選、宮吉長門無投票当選
" 4月1日	八幡町公民館起工式を挙行	" 31年7月	市原村と合併
" 6月26日	八幡中学校との合同落成式を挙行	" 31年11月	県が漁業組合に八幡海岸埋立てを提示
" 6月27日	八幡町敬老会を開催	" このころ	公民館中心に埋立てめぐる議論続く
" 8月17日	ボーイスカウト県研集會開催、市原隊発足	" 32年10月24日	漁業組合、海岸埋立てに同意、調印
" 9月30日	落成こけら落とし、中村吉右衛門一座招く	"	八幡海岸埋立て工事始まる
" このころ	各種合同行事を開始	" 34年	旭硝子、三井造船などが操業を開始
"	青年学級、婦人会活動など活発となる	" 38年4月1日	人口急増で八幡公民館の業容が拡大
" 24年1月24日	供米完納、GHQ千葉軍政部司令官表彰	" 38年4月1日	市原市制、市立八幡公民館となる
" 2月23日	総選挙県下最高投票率達成、知事表彰	" このころ	公民館メモ図面(現存)
" 3月28日	千葉新聞が八幡公民館を特集	" 47年	駅前整備工事のため中学校跡地に移転
" 3月	新所得税法的全町分を立替え全納	"	体育館は旧中学校体育館を利用
" 5月15日	八幡町公民館新聞創刊	" 51年	八幡武道館を開館
" 6月22日	参議院選で県下最高投票率達成	" 61年4月23日	体育館などを増設リニューアルオープン
" 8月	八幡町総合グラウンド完成	"	併設支所と合同落成式を挙行
" 9月15日	公民館を郷土振興の推進拠点位置付け	平成7年	八幡宿駅に市民ギャラリーを設置
" 11月3日	文部大臣表彰、菅野館長天皇陛下拝謁	" 9年4月1日	サークル連絡協議会を結成
" 25年7月16日	秩父宮妃殿下、視察のため御成り	" 10年6月26日	創立50周年を迎える
" 12月	郡内2番目の南総公民館が創立	" 23年4月1日	市直営から指定管理者制度に移行
" 26年4月	一斉選挙で菅野館長県議に出馬、当選	"	運営を八幡公民館運営委員会が受託
"	菅野町長後任は鈴木貞一となる	" 25年	市制50周年、創立65周年行事を開催
" 5月	県公民館連協結成、白鳥孝治会長となる	" 30年6月26日	創立70周年を迎える、記念行事を開催
" 29年8月22日	初の町長投票選挙で鈴木敬介当選	" 11月2日	69年ぶり2度目の文科大臣賞受賞

この展示会の企画、運営は「八幡史学館」グループがサポートしています

主管＝八幡史学館チーム 平成20年創設、会員数8人

目的) 八幡地区の郷土史研究、八幡史学館運営協力、八幡宮境内清掃など
主な刊行物) 石造物にみる八幡郷土史「市原市八幡の石造物研究」、八幡名所100選
主な事業) やわたむかし写真館、創立60、65周年企画展、史学館10周年「五大力船」展、山口達展

主管＝市原の古文書研究会 平成13年創設、会員数8人 (協力＝八幡市川本店文書調査会)

目的) 郷土資料の掘り起し、解説、発表、郷土史研究 主な刊行物) 市原市の古文書研究第1～7集
表彰) 千葉県文化財保護協会創立50周年「千葉県文化財保護功労賞」受賞

主催＝ 市原市立八幡公民館運営委員会 (会長・安藤岩男)

〒290-0062 千葉県市原市八幡1050-1 電話0436-41-1984

昭和23年創立、 お蔭さまで70年を迎えました

八幡公民館は戦後の混乱期に創立、郷土復興と町づくりの「黎明期」、海岸埋立て、工場誘致による急激な「工業都市化」など、時代時代の社会変化の中、「地域文化の殿堂」としての役割を果たしながら、今年「創立70周年」を迎えた。

八幡公民館が誕生した昭和23年は、連合国総司令部（GHQ）マッカーサー元帥の占領下にあった。人々は食糧を始めとした極端な物資不足とインフレ、人心混乱の中から立ち直ろうと必死にもがいていた。昭和22年、文部省はこうした国民的運動にこたえて全国の自治体に「公民館の設置」を提唱した。この年、「日本国憲法」が制定され、小学校6年、中学校3年を義務教育とする「教育基本法」が公布された。総選挙で日本社会党内閣が誕生したがわずか8か月で終り、民主自由党の吉田茂が総理大臣に返り咲いた。「昭和の歌姫」天才歌手・美空ひばりがデビュー、黒澤明監督の「酔いどれ天使」が銀幕の話題をさらった。

八幡公民館は70年前のこんな時代の中で誕生した。昭和22年4月に行われた「町長選挙」で菅野儀作が無投票当選。最初の仕事が新制「八幡中学校」の建設であった。つてを頼って貰い受けた旧習志野連隊の兵舎を解体して八幡に運び、職工組合と町の人たち、ボランティアの突貫工事で第1期生卒業式の日完成した。幸い中学校の残材も残っている。公民館工事は息つく暇もない4月1日に始まった。勤労奉仕は延べ4700人、工期3か月、木造洋館2階建て延べ237坪、1階に舞台大講堂を備え、2000人収容のモダン公民館が竣工したのは昭和23年6月26日、「こけら落とし」は実りの秋を待った9月30日、大入り満員の盛況であった。

創立当初の八幡公民館の活動は目覚ましいものだった。青年学級、婦人会、ボーイスカウト、生花、剣道などのサークルが誕生し、役場、小中学校、青年団などが機能的に結集した。公民館は町の「戦後復興」「町づくり」の中心となった。八幡公民館がはじめた合同たんごの節句、公民館結婚式などの「生活刷新運動」は瞬く間に千葉県下に広がった。翌24年11月3日、晴れて「全国優良公民館」として「文部大臣賞」を受賞した。

昭和32年、地元漁業協同組合は千葉県が提示した「京葉工業地帯建設計画」を受け入れて「漁業権」を放棄、八幡海岸はあっという間に埋め立てられて、巨大プラントが立ち並んだ。湊町は一転して「中堅工業都市」へと変身する。同38年市原市が誕生、八幡公民館は市原市立と看板を改め、全国からの進出企業従業員を仲間に迎えて業容を一段と拡大した。そして同47年、八幡宿駅前整備事業のため創立の地から現在地である、旧八幡中学校跡地の一部へと新築移転した。

平成23年市原市は公民館の運営業務を指定管理者制度に移行、八幡公民館運営委員会が受託した。八幡公民館は「地域文化」の中心拠点として、ことし創立70周年の節目の年を迎えたとともに、69年ぶり2度目の「文部科学大臣表彰」の栄に輝いた。八幡公民館の歴史は、戦後の混乱期、経済成長期をへて今日へと歩んだ、わが国、そしてわが町「市原」の「昭和、平成社会教育史」そのものでもあった。

(文中敬称省略)



旧八幡公民館



公民館表彰で昭和天皇に拝謁する菅野館長



現在の八幡公民館と公民館の活動



八幡町当時の中心街

初代八幡公民館長・菅野儀作（明治40年～昭和56年）

戦後民選初代八幡町長。八幡町の「戦後復興」「町おこし」シンボルとして八幡公民館を創立、のち県議5期をへて参議院議員3期、県政界リーダーとして京葉工業地帯、成田新東京国際空港建設などに力を発揮した。



八幡中学校、公民館建設委員長・白鳥孝治（明治28年～昭和44年）

旧公民館建設の総責任者。八幡町1350全戸が一堂に会せるように設計、使命感に近い情熱で陣頭に立った。千葉県公民館連絡協議会会長、県社教副委員長、町議、PTA会長などを務めた。



八幡町建設のうた



創立当時の公民館新聞



大天井絵



GHQ軍政部表彰状

伝統見守る大天井絵と板戸板書

八幡公民館でひと際目をひく大天井絵は当時八幡在住の日本画家・山口達画伯の代表作「四季草花図」。開館に間に合わそうと連日の徹夜、完成と同時に倒れ、晴れの竣工式にも出席できなかったというエピソードが伝わる。「浜辺にて」は八幡海岸での町の娘たちを描く。今回は普段非公開の浅見喜舟先生の板書「八幡町建設のうた」、「座右の銘」を特別公開、八幡公民館創立の精神が伝わる。

貴重な旧公民館史料を保存

昭和30～40年代、旧公民館からの引っ越しや町村合併、市制など変遷が激しく、多くの歴史的史料を散逸したが、八幡町時代の「行事写真集」、町の表彰状をまとめた「八幡公民館解体集輯」が所蔵されていた。写真帳は創立直後の建物や行事写真など貴重史料が多く、英和文タイプを並記したGHQ千葉軍政部司令官表彰状は戦後史を物語っている。

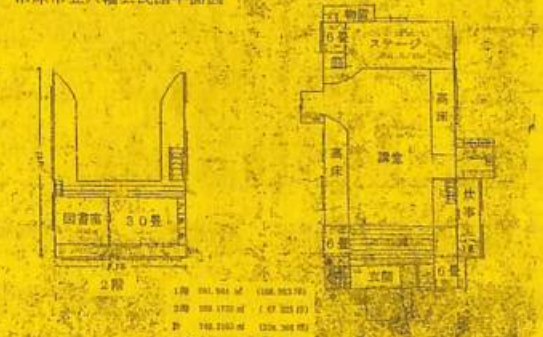
また、教育委員会保存文書には菅野館長時代の「八幡町公民館新聞」、昭和34年「公民館日誌」や旧公民館のメモ青焼き図面が奇跡的に保管された。一方「飯香岡八幡宮日誌」には、創立当時の用地選定や工事、公民館行事などが記録されている。

「旧公民館復元模型」を展示

今回発見された青焼き図面をもとに1/30で復元した「旧公民館模型」。当時を知る世代には青春時代の思い出が詰まった「タイムカプセル」でもある。

郷土八幡の「戦後」は八幡公民館なくして語ることはできない。八幡公民館では70周年と2度目の文科大臣賞全国「優良公民館」を受賞、よりよい公民館活動を目指している。

市原市立八幡公民館平面図



旧公民館平面図



旧公民館復元模型

八幡公民館創立70周年記念事業 八幡公民館 創立70年の黎明

69年ぶり2度目の全国「優良公民館」受賞
～平成30年度「文部科学大臣表彰」～

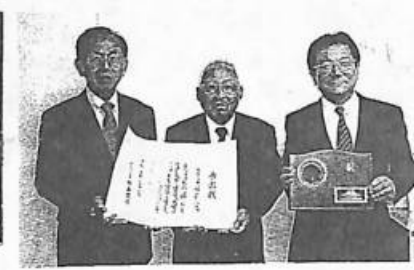


前回(上)と今回表彰状



表彰状

表彰楯



賞状と表彰楯を手にする林教育長と安藤会長、池田館長

創立70周年を彩る2枚の文科大臣賞状

昭和24年、全国「優良公民館」文部大臣表彰(前回)
平成30年、全国「優良公民館」文部科学大臣表彰(今回)

八幡公民館は昭和23年に千葉県2番目の公民館として、戦後復興と町づくり、人づくりを旗印に開館した。(中略)かつて八幡は水陸交通の要衝として発達した歴史文化の町である。「八幡史学館」は郷土の歴史資料を掘り起しその背景を学ぶことにより、地域への理解と愛着を深めることを目的としている。資料も豊富で貴重なものも多く内容も充実している。(中略)地域の活性化を図るとともに上記事業に代表されるような様々な講座の充実を図り、よりよい公民館活動を目指している。(文部科学省発表資料から)

町民の血と汗で築いた旧公民館～八幡公民館関連年表～

年月日	八幡公民館と八幡、主な関連できごと	年月日	八幡公民館と八幡、主な関連できごと
昭和22年11月26日	八幡宮境内で八幡中学校地鎮祭を挙	昭和30年3月31日	菊間村と合併市原町となる
" 23年3月	八幡中学校新校舎落成	" 5月	町長選、宮吉長門無投票当選
" 4月1日	八幡町公民館起工式を挙	" 31年7月	市原村と合併
" 6月26日	八幡中学校との合同落成式を挙	" 31年11月	県が漁業組合に八幡海岸埋立てを提示
" 6月27日	八幡町敬老会を開	" このころ	公民館中心に埋立てめぐる議論続く
" 8月17日	ボーイスカウト県研集会開催、市原隊発	" 32年10月24日	漁業組合、海岸埋立てに同意、調印
" 9月30日	落成こけら落とし、中村吉右衛門一座招	" 34年	八幡海岸埋立て工事始まる
" このころ	各種合同行事を開始	" 旭硝子、三井造船などが操業を開始	
	青年学級、婦人会活動など活発となる	" 人口急増で八幡公民館の業容が拡大	
" 24年1月24日	供米完納、GHQ千葉軍政部司令官表彰	" 38年4月1日	市原市制、市立八幡公民館となる
" 2月23日	総選挙県下最高投票率達成、知事表彰	" このころ	公民館メモ図面(現存)
" 3月28日	千葉新聞が八幡公民館を特集	" 47年	駅前整備工事のため中学校跡地に移転
" 3月	新所得税法の全町分を立替え全納	" 体育館は旧中学校体育館を利用	
" 5月15日	八幡町公民館新聞創刊	" 51年	八幡武道館を開館
" 6月22日	参議院選で県下最高投票率達成	" 61年4月23日	体育館などを増設リニューアルオープン
" 8月	八幡町総合グラウンド完成	" 併設支所と合同落成式を挙	
" 9月15日	公民館を郷土振興の推進拠点位置付け	平成7年	八幡宿駅に市民ギャラリーを設置
" 11月3日	文部大臣表彰、菅野館長天皇陛下拝謁	" 9年4月1日	サークル連絡協議会を結成
" 25年7月16日	秩父宮妃殿下、視察のため御成り	" 10年6月26日	創立50周年を迎える
" 12月	郡内2番目の南総公民館が創立	" 23年4月1日	市直営から指定管理者制度に移行
" 26年4月	一斉選挙で菅野館長県議に出馬、当選	" 運営を八幡公民館運営委員会が受託	
" 菅野町長後任は鈴木貞一となる	" 25年	市制50周年、創立65周年行事を開催	
" 5月	県公民館連協結成、白鳥孝治会長となる	" 30年6月26日	創立70周年を迎える、記念行事を開催
" 29年8月22日	初の町長投票選挙で鈴木敬介当選	" 11月2日	69年ぶり2度目の文科大臣賞受賞

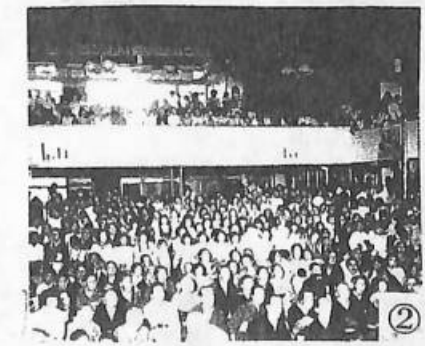
この展示会の企画、運営は「八幡史学館」グループがサポートしています

主管=八幡史学館チーム 平成20年創設、会員数8人
目的) 八幡地区の郷土史研究、八幡史学館運営協力、八幡宮境内清掃など
主な刊行物) 石造物にみる八幡郷土史「市原市八幡の石造物研究」、八幡名所100選
主な事業) やわたむかし写真館、創立60、65周年企画展、史学館10周年「五大力船」展、山口達展
主管=市原の古文書研究会 平成13年創設、会員数8人 (協力=八幡市川本店文書調査会)
目的) 郷土資料の掘り起し、解説、発表、郷土史研究 主な刊行物) 市原市の古文書研究第1~7集
表彰) 千葉県文化財保護協会創立50周年「千葉県文化財保護功労賞」受賞

主催= 市原市立八幡公民館運営委員会 (会長・安藤岩男)
〒290-0062 千葉県市原市八幡1050-1 電話0436-41-1984



①



②

Since 1948 やわた公民館



③

写真①=戦後の混乱期、八幡町民の血と汗、勤労奉仕で築いた旧公民館
写真②=公民館行事に1、2階吹き抜けの講堂を埋め尽くした町の人たち
写真③=八幡公民館創立当時の八幡海岸

平成30年12月22日(土)～1月10日(木) 13時
会場* JR八幡宿駅構内「市民ギャラリー」
主催* 市原市立八幡公民館運営委員会
主管* 八幡史学館チーム、市原の古文書研究会

昭和23年創立、 お蔭さまで70年を迎えました

八幡公民館は戦後の混乱期に創立、郷土復興と町づくりの「黎明期」、海岸埋立て、工場誘致による急激な「工業都市化」など、時代時代の社会変化の中、「地域文化の殿堂」としての役割を果たしながら、今年「創立70周年」を迎えた。

八幡公民館が誕生した昭和23年は、連合国総司令部（GHQ）マッカーサー元帥の占領下にあった。人々は食糧を始めとした極端な物資不足とインフレ、人心混乱の中から立ち直ろうと必死にもがいていた。昭和22年、文部省はこうした国民的運動にこたえて全国の自治体に「公民館の設置」を提唱した。この年、「日本国憲法」が制定され、小学校6年、中学校3年を義務教育とする「教育基本法」が公布された。総選挙で日本社会党内閣が誕生したがわずか8か月で終り、民主自由党の吉田茂が総理大臣に返り咲いた。「昭和の歌姫」天才歌手・美空ひばりがデビュー、黒澤明監督の「酔いどれ天使」が銀幕の話題をさらった。

八幡公民館は70年前のこんな時代の中で誕生した。昭和22年4月に行われた「町長選挙」で菅野儀作が無投票当選。最初の仕事が新制「八幡中学校」の建設であった。つてを頼って貰い受けた旧習志野連隊の兵舎を解体して八幡に運び、職工組合と町の人たち、ボランティアの突貫工事で第1期生卒業式の日完成した。幸い中学校の残材も残っている。公民館工事は息つく暇もない4月1日に始まった。勤労奉仕は延べ4700人、工期3か月、木造洋館2階建て延べ237坪、1階に舞台大講堂を備え、2000人収容のモダン公民館が竣工したのは昭和23年6月26日、「こけら落とし」は実りの秋を待った9月30日、大入り満員の盛況であった。

創立当初の八幡公民館の活動は目覚ましいものだった。青年学級、婦人会、ボーイスカウト、生花、剣道などのサークルが誕生し、役場、小中学校、青年団などが機能的に結集した。公民館は町の「戦後復興」「町づくり」の中心となった。八幡公民館がはじめた合同たんごの節句、公民館結婚式などの「生活刷新運動」は瞬く間に千葉県下に広がった。翌24年11月3日、晴れて「全国優良公民館」として「文部大臣賞」を受賞した。

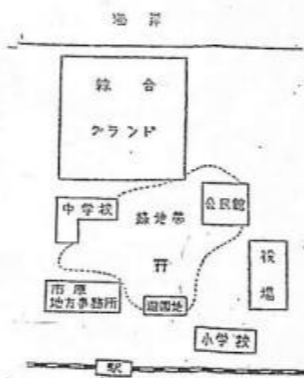
昭和32年、地元漁業協同組合は千葉県が提示した「京葉工業地帯建設計画」を受け入れて「漁業権」を放棄、八幡海岸はあっという間に埋め立てられて、巨大プラントが立ち並んだ。湊町は一転して「中堅工業都市」へと変身する。同38年市原市が誕生、八幡公民館は市原市立と看板を改め、全国からの進出企業従業員を仲間に迎えて業容を一段と拡大した。そして同47年、八幡宿駅前整備事業のため創立の地から現在地である、旧八幡中学校跡地の一部へと新築移転した。

平成23年市原市は公民館の運営業務を指定管理者制度に移行、八幡公民館運営委員会が受託した。八幡公民館は「地域文化」の中心拠点として、ことし創立70周年の節目の年を迎えるとともに、69年ぶり2度目の「文部科学大臣表彰」の栄に輝いた。八幡公民館の歴史は、戦後の混乱期、経済成長期をへて今日へと歩んだ、わが国、そしてわが町「市原」の「昭和、平成社会教育史」そのものでもあった。

(文中敬称省略)



旧八幡公民館



八幡町当時の中心街

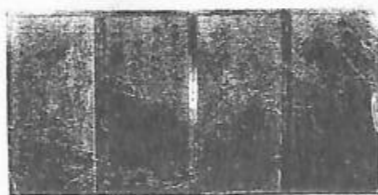
初代八幡公民館長・菅野儀作（明治40年～昭和56年）

戦後民選初代八幡町長。八幡町の「戦後復興」「町おこし」シンボルとして八幡公民館を創立、のち県議5期をへて参議院議員3期、県政界リーダーとして京葉工業地帯、成田新東京国際空港建設などに力を発揮した。



八幡中学校、公民館建設委員長・白鳥孝治（明治28年～昭和44年）

旧公民館建設の総責任者。八幡町1350全戸が一党に会せるように設計、使命感に近い情熱で陣頭に立った。千葉県公民館連絡協議会会長、県社教副委員長、町議、PTA会長などを務めた。



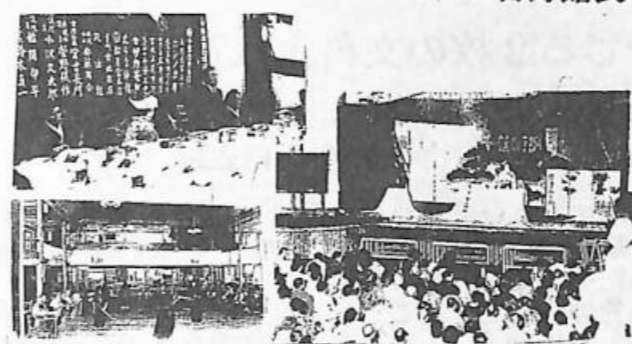
八幡町建設のうた



創立当時の公民館新聞



公民館表彰で昭和天皇に拝謁する菅野館長



創立当時の公民館の活動

伝統見守る大天井絵と板戸板書

八幡公民館でひと際目をひく大天井絵は当時八幡在住の日本画家・山口達画伯の代表作「四季草花図」。開館に間に合わそうと連日の徹夜、完成と同時に倒れ、晴れの竣工式にも出席できなかったというエピソードが伝わる。「浜辺にて」は八幡海岸での町の娘たちを描く。今回は普段非公開の浅見喜舟先生の板書「八幡町建設のうた」、「座右の銘」を特別公開、八幡公民館創立の精神が伝わる。



大天井絵



GHQ軍政部表彰状

貴重な旧公民館史料を保存

昭和30～40年代、旧公民館からの引っ越しや町村合併、市制など変遷が激しく、多くの歴史的史料を散逸したが、八幡町時代の「行事写真集」、町の表彰状をまとめた「八幡公民館解体集輯」が所蔵されていた。写真帳は創立直後の建物や行事写真など貴重史料が多く、英和文タイプを並記したGHQ千葉軍政部司令官表彰状は戦後史を物語っている。



現在の八幡公民館と公民館の活動

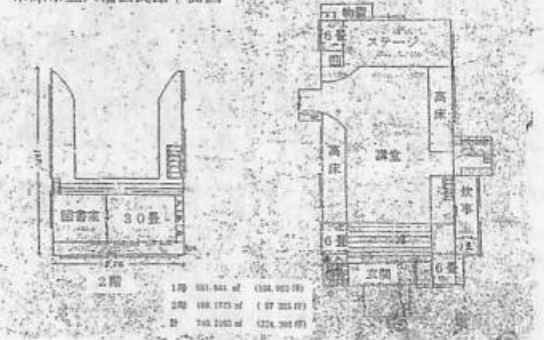
また、教育委員会保存文書には菅野館長時代の「八幡町公民館新聞」、昭和34年「公民館日誌」や旧公民館のメモ青焼き図面が奇跡的に保管された。一方「飯香岡八幡宮日誌」には、創立当時の用地選定や工事、公民館行事などが記録されている。

「旧公民館復元模型」を展示

今回発見された青焼き図面をもとに1/30で復元した「旧公民館模型」。当時を知る世代には青春時代の思い出が詰まった「タイムカプセル」でもある。

郷土八幡の「戦後」は八幡公民館なくして語ることはできない。八幡公民館では70周年と2度目の文科大臣賞全国「優良公民館」を受賞、よりよい公民館活動を目指している。

市原市立八幡公民館平面図

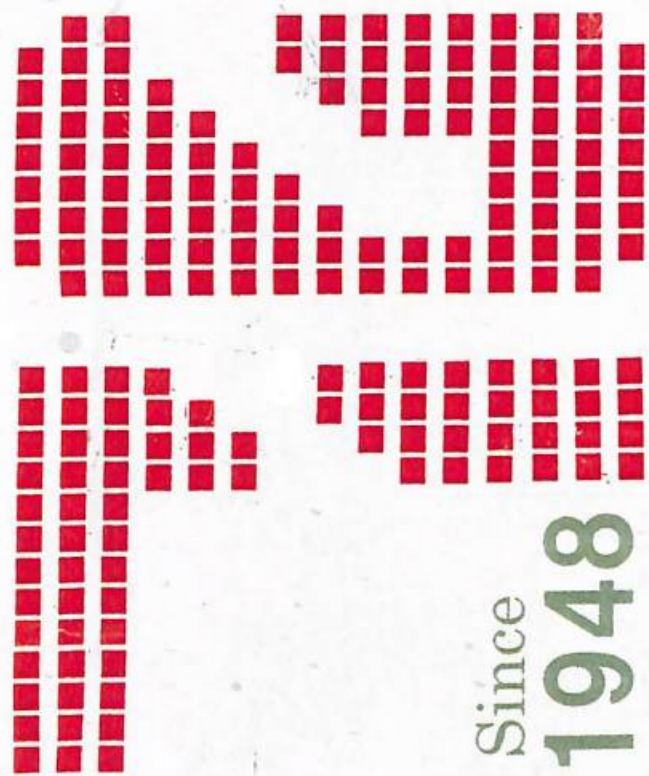


旧公民館平面図



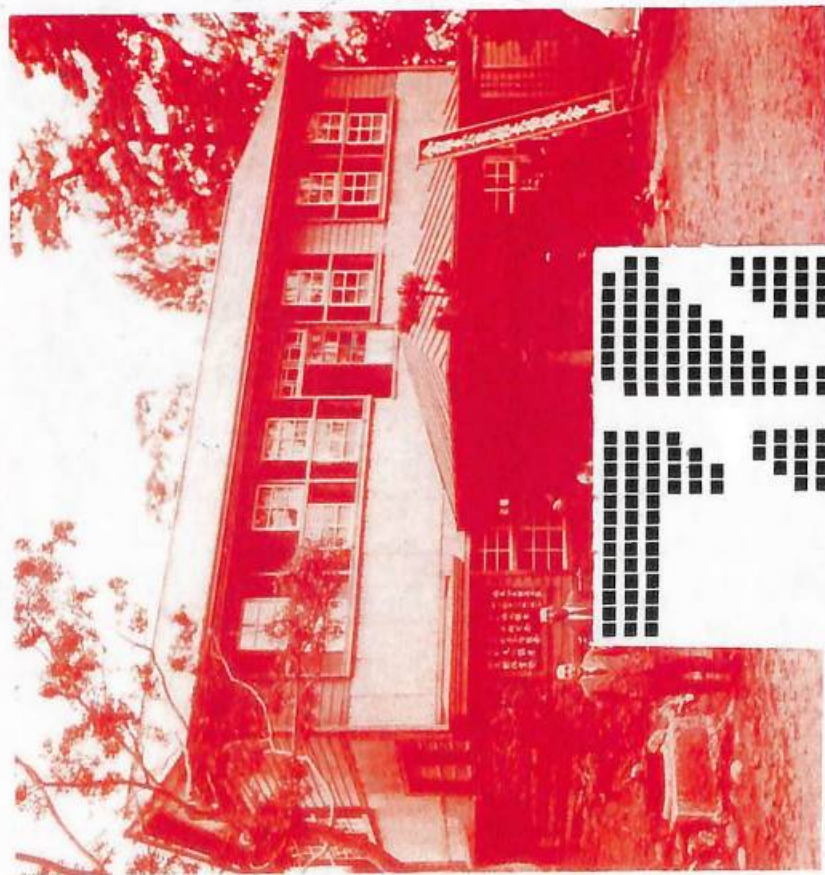
旧公民館復元模型





Since
1948

やわた公民館



Since
1948

やわた公民館

66%

印刷依頼=第1~2ページ

「さあ、今度は公民館だ」

八幡町民の熱意と汗が築いた
「八幡公民館 黎明ものがたり」

●八幡公民館は戦後の混乱期に創立、郷土復興と町づくりの「黎明期」、海岸埋立て、工場誘致による急激な「工業都市化」など、時代時代の社会変化の中、「地域文化の殿堂」としての役割を果たしながら、ことし「創立70周年」を迎えた。

* * *

八幡公民館が誕生した昭和23年は、連合国総司令部（GHQ）マッカーサー元帥の占領下にあった。人々は食糧を始めとした極端な物資不足とインフレ、人心混乱の中から立ち直ろうと必死にもがいていた。昭和22年、文部省はこうした国民的運動に応じて全国の自治体に「公民館の設置」を提唱した。この年、「日本国憲法」が制定され、小学校6年、中学校3年を義務教育とする「教育基本法」が公布された。総選挙で日本社会党内閣が誕生したがわずか8か月で終り、民主自由党の吉田茂が総理大臣に返り咲いた。昭和の歌姫「天才歌手・美空ひばり」がデビュー、黒澤明監督の「酔いどれ天使」が銀幕の話題をさらった。

* * *

●八幡公民館は70年前のこんな時代の中で誕生した。昭和22年4月に行われた「町長選挙」で菅野儀作が当選。最初の仕事が新制「八幡中学校」の建設であった。つてを頼って貰い受けた旧習志野連隊の兵舎を解体して八幡に運び、職工組合と町の人たち総出のボランティア工事で第1期生卒業式の日

3357
5/2

に完成した。幸い中学校の残材もある。「さあ、今度は公民館だ」みんなの気持ちは1つにまとまった。「公民館工事は息つく暇もない4月1日に始まった。勤労奉仕は延べ4700人、工期3か月、木造洋館2階建て延べ237坪、1階に舞台大講堂を備え、2000人収容のモダン公民館が竣工したのは昭和23年6月26日、「こけら落とし」は実りの秋を待った9月30日、大入り満員の盛況であった。

創立当初の八幡公民館の活動は目覚ましいものだった。青年学級、婦人会、ボーイスカウト、生花、剣道などのサークルが誕生し、役場、小中学校、青年団などが機能的に結集した。公民館は町の「戦後復興」、「町づくり」の中心となった。八幡公民館がはじめた合同たんごの節句、公民館結婚式などの「生活刷新運動」は瞬く間に千葉県下に広がった。翌24年11月3日、晴れて「全国優良公民館」として「文部大臣賞」を受賞した。

* * *

昭和32年、地元漁業協同組合は千葉県が提示した「京葉工業地帯建設計画」を受け入れて「漁業権」を放棄、八幡海岸はあっという間に埋め立てられて、巨大プラントが立ち並んだ。湊町は一転して「中堅工業都市」へと変身する。同38年市原市が誕生、八幡公民館は市原市立と看板を改め、全国からの進出企業従業員を仲間に迎えて業容を一段と拡大した。そして同47年、八幡宿駅前整備事業のため創立の地から現在地である、旧八幡中学校跡地の一部へと新築移転した。

* * *

平成23年市原市は公民館の運營業務を指定管理者制度に移行、八幡公民館運営委員会が受託した。八幡公民館は「地域文化」の中心拠点として、ことし創立70周年の節目の年を迎えるとともに、69年ぶり2度目の「文部科学大臣表彰」の栄に輝いた。八幡公民館の歴史は、戦後の混乱期、経済成長期をへて今日へと歩んだわが国、そしてわが町「市原」の「昭和、平成社会教育史」そのものでもあった。

八幡公民館歴史年表

335/1











第1回全国「優良公民館」文部大臣表彰

昭和24年＝八幡町公民館

創立当初の八幡公民館は「教養の向上」「体育リクリエーション」など5本の柱のもと青年学級、婦人会などが誕生し、役場、学校などが機能的に結集した。合同端午の節句や公民館結婚式などの「生活刷新運動」を全国に広げた。昭和24年文部大臣表彰、菅野館長が天皇陛下拝謁の栄に浴した。

八幡公民館ゆかりの著名日本画家

千葉大学教授・山口 達画伯

昭和戦前・戦後期、八幡を拠点に活躍された日本画家。福岡県生まれ、東京芸大で前田青頓に学んで、市原中学校（現高校）などを経て千葉大教授。多くの逸材を送り出した。院展入選7回、院友。市美術会々長。公民館創立にあたり大天井絵などを寄贈された。明治40年生まれ～平成3年卒84歳。

海の町だったころの「八幡町絵図」

作者不詳

八幡公民館創立当初、昭和30年ころの八幡町の全景絵図です。八幡さま境内に海が迫り、港（みお）や海水浴場、海苔の養殖場が目につきます。一方、八幡宿駅近くを蒸気機関車が黒い煙をたなびかせています。八幡公民館や八幡小学校を探してみましょう。港町の思い出が詰まった貴重な文化財です。

公民館の創立 精神を伝

える浅見喜舟

先生板書

20 畳の大天井絵「四季草花図」

千葉大学教授・山口 達画伯

八幡公民館の天井絵は昭和 23 年、館の創立にあたり山口画伯が 2 か月かけられた代表作です。四季に織りなす草花をまとめたもので、開館式に間に合わそうと注射と徹夜続き、完成してはったり倒れられたエピソードが伝わります。移転建て替えて補修され、現在も公民館の顔として親しまれています。

食料危機にこたえた供米、甘藷の完納

昭和24年＝千葉軍政部司令官表彰状

八幡公民館創立当時の日本はGHQマッカーサー元帥の軍制下に置かれたが、国中が飢えにさらされる危機的な状況にあった。県の前年度供出実績は45%未満、軍と県の呼びかけに八幡町が応え、23年度供米、甘藷を1番乗りで完納した。英文と和文でタイプ並記された表彰状が日本の戦後史を物語っている。

浅見喜舟先生板書 「八幡町建設のうた」

「平和を愛好する町の人々よ、真理と自由と正義を尊び、自治建設を理想と仰ぎ、協力の町大八幡の建設」

この板書は八幡公民館創設当時、2階和室の板戸に掲げられた浅見喜舟先生の書である。初代の八幡町公民館と八幡中学校は、旧習志野騎兵連隊の軍施設を譲り受けた当時の町びとたちがボランティアで築いた。板書の行間には「わが町を築こう」と立ち上がった「八幡公民館創設の精神」が垣間みられる。

座右の銘

無道人之短無説己之長
施人慎勿念受施慎勿忘世
譽不足慕唯仁為紀綱
隱心而後動謗議庸何傷
無使名過実守愚聖所咸在
涅貴不淄曖曖内含光
柔弱生之徒老氏誠剛強
行行鄙夫志悠悠々故難量
慎言節飲食知足勝不祥行
之苟有恒久久自芬芳

漢・崔子玉座右銘 喜舟

人の短所は追究するな、自分の長所は自慢するな。人に恩を施したら早く忘れよ、だが、人から恩を受けたら決して忘れるな。世間の名譽を得ようなどと思うな。ただ仁を心の寄り所にせよ。心のなかで十分考えてから行動に移せ、そうすれば人に誹謗され心を痛めることもないだろう。実績以上の評判がたたないようにせよ、愚直を守ることがこそ聖人の奨励すること。黒い泥の中にあっても黒く染まらないことが大切、愚かなようである。黒い泥の中にあっても黒く染まらないことが大切、愚かなようである。老子も鋼強を戒めている。強がりでいばりくさって生きるのとはまるらぬ男の考えること、悠々とした生き方ははかり知れないほど深い。言葉をつつしみ暴飲暴食をせず、足りることを心得ておれば災いにも勝てる。以上のことを常に行えば、長い間おのずからおり続けるであろう。

旧公民館の利用状況を解析

昭和34年「公民館日誌」

教育委員会保管文書に「公民館新聞」「青焼き平面図」「昭和34年公民館日誌」が保存されていました。日誌は宮吉町長時代で、海岸埋立て造成、進出工場の建設、市制論争など転機にありました。利用者は年間4万人、町と学校行事、選挙投開票所、映画会、演劇などが目立ち、青年団、婦人会の活躍も時代を反映しています。

八幡公民館の創立者

民選初代八幡町長兼初代館長・菅野儀作

八幡町の「戦後復興」と「町起こし」シンボルとして八幡公民館を創立、工事は職工組合と町民総出の「勤労奉仕」で、70年前の昭和23年6月に竣工した。町長1期、県議5期をへて参議院議員3期、県政界リーダーとして京葉工業地帯建設などに力を発揮した。明治40年生まれ～昭和56年卒、73歳。

昭和24年＝関東地方民事本部感謝状

7年間にわたった連合軍の占領下にあった日本は、マッカーサー元帥の主導で民主化改革を進めました。GHQ関東地方民事本部の感謝状は英文タイプで、訳文は町が付けたしています。公明選挙運動を推進した市原町が参議院補欠選挙で、県下最高投票率99.67%を達成したことを讃えています。

食料危機にごたえた供米、甘藷の完納

昭和24年＝千葉軍政部司令官表彰状

八幡公民館創立当時の日本はGHQの軍制下に置かれたが、国中が飢えにさらされる危機的な状況にありました。県の前年度供出実績は45%未滿、軍と県の呼びかけに八幡町が応え、23年度供米、甘藷を1番乗りで完納しました。英文と和文でタイプ並記された表彰状が日本の戦後史を物語っています。

県下最高の投票率99.67%を達成

県教育委員会とのダブル表彰

昭和 24 年＝八幡町公民館

全国優良公民館として受賞した昭和 24 年の文化の日、千葉県教育委員会からも表彰されました。「施設が優秀であり、運営もまた極めて適切で、地方自治振興に寄与し、多大の成果をあげている」とあります。千葉県公民館連協を設立、会長館として、県下公民館の指導的役割もはたしました。

旧公民館を飾った 24 枚の表彰状

創立当初、4 年間の勲章

八幡公民館創立当初、優良町村、優良公民館として相次いで表彰されました。菅野町長兼館長時代の 4 年間、千葉県知事、国税庁長官、全国町長会など主なもののだけでも 24 枚にのぼりました。これらは旧公民館の講堂や和室に飾られていました。公民館は町のシンボルとして明るく活気に溢れていました。

市原市の初代市長

八幡町長、初代市原市長・鈴木貞一

菅野町長後継者で、民選第2代八幡町長と昭和38年町村合併による市制施行初代から3期の市原市長。京葉工業地帯「中堅工業都市」発展への礎を築いた。市庁舎、大型団地の創設、五井駅前整備などを実現、町長時代に第2代八幡公民館長を兼務した。明治42年生まれ～平成8年卒、86歳。

八幡公民館の創立者

初代八幡公民館長兼八幡町長・菅野儀作

八幡町の「戦後復興」と「町起こし」シンボルとして八幡公民館を創立、工事は職工組合と町民総出の「勤労奉仕」で、70年前の昭和23年6月26日に竣工した。のち県議5期をへて参議院議員3期、県政界リーダーとして京葉工業地帯建設などに力を発揮した。明治40年生まれ～昭和56年卒、73歳。

旧公民館板戸絵「しゃも」

千葉大学教授・山口 達画伯

この絵は旧八幡公民館当時、2階和室の板戸に描かれた山口 達画伯の作品です。「しゃも」はにわとりの1品種ですが、背が高く精悍な姿をしています。字は「軍鶏」と書き、飼育して賭けごとの「闘鶏」や食用とされます。かつて八幡でも飼う人が多かったといえます。

八幡地区中等教育の父

川上規矩（南洞）

八幡生まれの教育者。当時市原郡には中等程度の学校がなかったので、明治31年、八幡に「私学・南総学校」を開いてその校長となった。南総学校は昭和19年戦時下まで続いて多くの人材を送り出した。八幡郵便局を経営、和歌や俳句をよくした。文久元年生まれ～昭和9年卒、74歳。

八幡宿に在住の著名日本画家

千葉大学教授・山口 達画伯

昭和戦前・戦後期、八幡を拠点に活躍された日本画家。福岡県生まれ、東京芸大で前田青頓に学んで、市原中学校（現高校）などを経て千葉大教授。多くの逸材を送り出した。院展入選7回、院友。市美術会々長。八幡公民館創立期に大天井絵などを寄贈された。明治40年生まれ～平成3年卒84歳。

旧公民館板戸絵「鳳凰」

千葉大学教授・山口 達画伯

この絵は旧八幡公民館当時、2階和室の板戸に描かれた山口 達画伯の作品です。「鳳凰」は中国の伝説の鳥でオスを鳳、メスを凰と呼ぶ。形は前が麒麟、後ろは鹿、背は亀、尾は鳥に似て「聖徳の天子のきざし」に現れる吉象とされる。先生は八幡公民館がお好きでたびたびお見えになられた。

海の町が懐かしい「浜辺にて」

千葉大学教授・山口 達画伯

昭和30年ころの八幡海岸のスナップ。当時、町の多くは「半農半漁」、貝を拾い海苔を養殖して生活を立てました。絵は若い娘さんたちの作業合間の団らん、笑顔が砂浜に映えます。カゴにバカ貝やカニや拾い海苔、小魚が覗く。きつとこん晩の食卓に上ることでしょう。

20 畳の大天井絵「四季の草花」

千葉大学教授・山口 達画伯

天井の大絵は昭和23年、公民館の創立にあたり山口画伯が2か月かけられた氏の代表作です。四季に織りなす草花をまとめたもので、開館式に間に合わそうと注射と徹夜続き、完成してはったり倒れられたエピソードが伝わります。移転建て替えて補修され、現在も公民館の顔として親しまれています。

祝市原地区成人式







TV日本人の好きな100人より

順位	名前	ジャンル・職業など
40	宮崎駿	アニメーション
39	松本清張	小説家
38	大河内伝次	俳優
37	山本五十六	日本海軍 連合艦隊司令長官
36	モーニング娘。	アイドル
35	嵐	アイドル
34	高橋和也	日本選手権
33	藤原謙	俳優
32
31	オードリー・ヘプバーン	女優
30
29
28
27
26
25
24
23
22
21
20



講師 小岡勇次氏
市原を訪ねた歴史上の
ヒーロー・ヒロイン





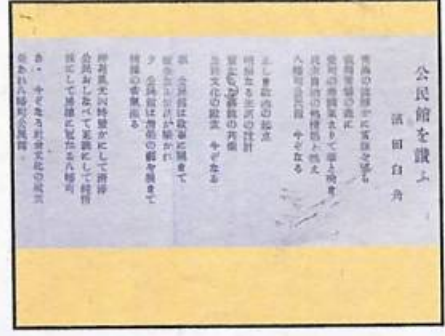
① ~ 公民館の歌



② 公民館の歌



③ 公民館を讀よ



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪ ~ 歌謡



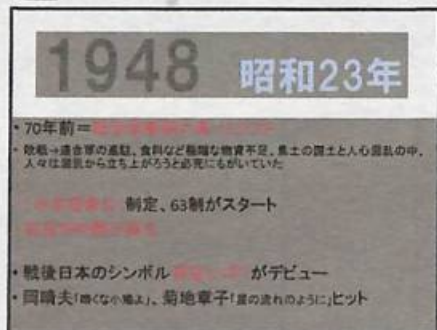
⑫ ス(寄附)



⑬ ~ Na 1



⑭



⑮



⑯



⑰ ~ Na 2 ~



⑱



19



竣工記念、役員、職員、町長一同とつた建設工事（昭和22年12月20日）
敷地の大半は、農業者等の譲渡は町長の勤労奉仕、生徒も給食に廻り出された

20



八幡中学校の竣工
新学期はぜひ新しい校舎で、工事は急がせて続けられ、昭和23年9月完成
勤労奉仕参加者延べ4400人、17年組の人

21



昭和40年代の八幡中学校
現在＝運動公園、公民館、支所
八幡中学校第1期卒業生

22



海砂を運んで新会グラウンドを建設

23 ~ Na 3



中学校は作った。材木も集った。「次は公民館だ」
公民館の建設工事は中学校竣工から日も浅い
昭和23年4月1日に始まる

24



公民館建設委員長 白鳥孝治
公民館建設に情熱を傾けた「熱血漢」
豊野との親交の中で
「事件公民館」が完成

25



公民館建設を進めた特殊の町議会議員

26



飯沼八幡宮境内配建図 昭和23年ころ

27



八幡町の中心部地図

28



八幡公民館平面図
今度も職工組合と町のたがが力をあわせた。勤労奉仕延べ4700人、工期4か月
本造洋館2階建て、延べ237坪 舞台大講堂、2000人収容
八幡中学校との合同竣工＝昭和23年4月26日
こけら落とし＝開りの秋を待った9月30日にむかれ、大入り満員の盛況であった

29 ~ Na 4



「郷土復興、町づくり、人づくり」
にかけた八幡公民館「設立の誓い」

30



八幡公民館の門出を飾った大天井絵
「四季の草花」と作者の山口道重自

31



八幡海岸を描いた「浜辺にて」

32



八幡町大観
八幡公民館創立当時の八幡町絵地図

33 ~ Na 5



八幡公民館の開設準備会

34

・八幡公民館がはじめた合同端午の節句、
・公民館結婚式などの
・「ふるさと新聞」は
・千葉県下から全国に発信していった。

35



「千葉県公民館史」に紹介された八幡公民館の活動

36



八幡公民館を拠点に町制が展開～千葉新聞の現地ルポ

37 ~ Na 6



第1回文部大臣賞を受賞
昭和24年11月3日「全国優良公民館」表彰

38



菅野館長が天皇陛下に拝謁

39



昭和25年秋父宮妃殿下が八幡公民館視察

40 ~ Na 7



昭和24年に発行された「公民館新聞」の第1号

41



町政を中心に公民館があった
菅野館長が描いた「人作り、町作り」のメッセージが窺われている

42



創立当時の活動ぶりを伝える
公民館行事写真帳

テ17

43 ~ Na 8



議員の町の人たちが集まった「音楽会」1期は1300人、2期は500人を収容
小中学生は授業の一環として全校生が出席した

44



母の日に
お母さんの笑顔がひろがる

45



こどもの日 舞台のみごとな3重の組物が

46



合同端午の節句と合同七五三

47



成人式 男性はふだん着、女性は薄ら着いた和服が多かった

48



県や支部、公民館主催の読書大会も活発

49



「青年学級」講座に若者たちが集まった

50



「のりまわし」も公民館の研究テーマ
新生活運動の料理教室

51



昭和25年の公民館図書室「読書週間」

52 Na 9



盆踊りや院内運動会(写真は仮装大会)も行われた

53



ボーイスカウト県連盟結成ゆかり地

54



延客が多かった朝連大会や合宿

58



「生活刷新運動」の中心となった公民館結成式

59



戦後の乏しかった時代、秋祭りや新緑ショー、漁業大会は毎回議員となった

59



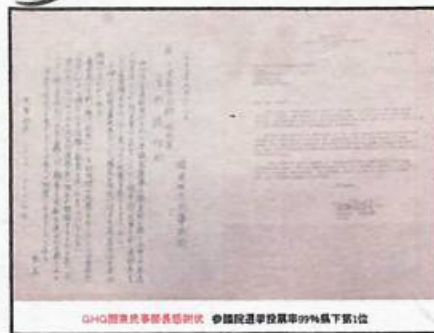
さなぶり舞踊大会

58 ~ Na 10



GHQ下置郡部局中官表彰状 昭和23年度供米達成

59



GHQ課長表彰状 参議院選挙投票率の%低下防止

60



表彰状

61



婦人会の活動が目立った

62



昭和24年、「一歩地方選挙」で市原町中選挙区議員に当選
長瀬1期をへて参議院議員。この間、感服者リーダーとして工業工業地帯
新設や国庫貯蓄の増進などに力を発揮した

63



戦後第3代八幡町長
昭和26年~29年
鈴木貞一
第2代八幡公民館長

64 ~ Na 11

1955 昭和30年
八幡町、市原村、菊間村合併
市原町誕生

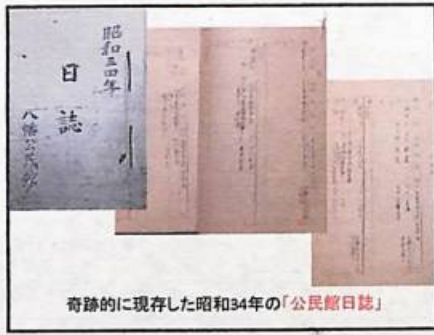
- 戦後第4代八幡町長 鈴木敬介
- 昭和29年~30年
- 昭和30年、八幡町と菊間村が合併
- 31年、市原村の大部分が加わる
- 「市原町」が誕生
- 戸数1960、人口1万0454人

65



第1代市原町長 宮吉長門
昭和30年~33年
八幡海岸埋め立て、工場建設
市原市創発足に取り組む

66



奇跡的に現存した昭和34年の「公民館日誌」

67 ~ Na 12

1957 昭和32年
京葉工業地帯建設計画
八幡海岸を埋立てる

- 千葉県「京葉工業地帯建設」計画
- 千葉、市原、袖ヶ浦、木更津、習志野
- 八幡・五所漁業権組合が最初の交渉
- 地となる

68



漁業組合の埋立記念碑と八幡宮に寄進された神楽殿

年寄たちは「埋立をしないでほしい」と反対
しかしお寺の長老は
のりや貝に毒を付すへの不安と、埋立拡大
による「お寺のつぶれ」にかけた

昭和32年10月
島との間に橋渡協定を締結

69



埋立て工事はすぐに始まった
大型建設船で埋上げた海底の砂が足らぬので
運ばれあつた期間に完成した

70



道路が敷かれ、工場プラントが陸々誕生

71



昭和34年の埋立工事を第一陣に、五井造船、百河電機建設、昭和電工、
大日本インキなど、日本を代表する大企業が陸地を開拓した

72 ~ Na 13

1963 昭和38年
市原町、五井町、姉崎町など
5町村が合併
市原市誕生

- こえて42年、南総町と加茂村を吸収合併
- 人口12万5千、県下19番目の市として発足
- 市原市立八幡公民館となる

74 73

73



- ・第1代市議員 鈴木貞一
- ・昭和18年～50年
- ・昭和38年の市原市長選で当選
- ・市長3選、昭和50年任期満了退任
- ・鈴木市長時代
- ・国分寺台に市役所新庁舎が完成
- ・五井京口警備専業
- ・舊巳田地、有秋台などの大団地造成
- ・市民会館、臨海運動公園、道路や
- ・鉄線化などが実現した

74

1972 昭和47年
八幡公民館
現在地に移転

- ・八幡駅前整備計画のため
- ・八幡中学校跡地の現在地に
- ・新築移転

75



76



大講義室で剣道も
新しい八幡公民館が完成

新築移転を伝える「広報いちばら」

77 ~ Na14

1986 昭和61年
八幡公民館
リニューアル
オープン

- ・体育館、視聴覚室などを増設
- ・4月23日
- ・併設支所との合同落成式を挙

78



79



80



81



82



83 ~ Na14

黎明期から安定期へ
~昭和期の八幡公民館~

- ・八幡公民館昭和40年
- ・戦後の混乱期、食料難とインフレから復興し、
- ・高度経済成長期へと歩んだ
- ・「日本の「昭和史」そのものでもあった

84

明日への飛翔
~平成期の八幡公民館~

- ・平成0年 サークル連絡協議会を結成
- ・23年 3.11「東日本大震災」
- ・市原市から指定管理市制度に移行
- ・運営を「八幡公民館運営委員会」が受託
- ・25年 市創50周年、創立60周年記念行事を開催
- ・30年 創立70周年を迎える

85



86

八幡公民館創立70周年記念文化祭
八幡公民館創立70年の黎明
平成30年10月
制作 八幡史学館チーム

87

資料提供

「八幡公民館 創立70年の黎明」

ナレーション原稿

1~ (タイトル)

(音楽=公民館の歌) 85秒+5秒



①13~ 「八幡公民館」は、いまから70年前の、昭和23年に誕生しました。

(4) 前年、「日本国憲法」が制定され、「新制中学校」がうぶ声を上げました。

②17~ 戦後第2代の「八幡町長」、「菅野儀作」です。



(6) 八幡中学校はできたが、校舎はありません。

「習志野連隊」の古材を貰い受け、

「職人組合」と町民の「勤労奉仕」で、完成させます。

③23~ 「さあ、こんどは公民館だ」



(6) 工事は、中学校竣工直後の、4月1日に始まりました。

「飯香岡八幡宮」の境内。

今度も町の人たちが、力をあわせます。

工期3か月、木造洋館、2000人収容の公民館が完成しました。

④29~ 創立を飾った、「浅見喜舟先生」の、「八幡町建設の歌」と



(6) 「山口達画伯」の、大天井絵「四季の草花(そうか)図」。



⑤33~ 「戦後復興」と「町作り」。

(4) 「八幡公民館」が始めた、「公民館結婚式」などの「新生活運動」が、県下に広がりました。



⑥37~ 昭和24年11月3日、

(3) 「全国優良公民館」として、「文部大臣賞」を受賞しました。

⑦新40~ 当時の「八幡町、公民館新聞」と「行事写真帳」です。



(3)

⑧43~ 1階と2階「吹き抜き」の大講堂。



(9) 敬老会や成人式、端午の節句、

小中学校の「入学式や卒業式」も、公民館で開催されました。

⑨新52~ 「盆踊り大会」や、「運動会」が盛り上がり、



(6) 「ボーイスカウト」が誕生しました。

まだまだ娯楽の乏しい時代、「映画会」や「歌謡ショー」、「浪曲大会」、

「女剣劇一座」に満員の観衆が集まりました。

⑩新58~ 珍しい英文と日本語並記(へいき)の「GHQ、表彰状」。

(6) 1枚は「^{キョリツフキ}供出米、完納」、もう1枚は、「総選挙、最高得票率99%」

当時の世相を反映した、貴重な「歴史遺産」です。



①新 64~ 昭和 30 年、「八幡町」は「菊間村」と合併、

(3) 翌年、「市原村」の大部分を加えて、市原町になりました。

1955~
文子

②67~ 昭和 31 年、千葉県は千葉、市原などの海岸部を埋め立てる

(5) 「京葉工業地帯、建設計画」を「八幡、五所漁業組合」に提示します。

1957~
文子

「年寄たち」は反対、

しかし、「若者たち」は「海苔」や「貝」に頼る「将来への不安」と

「雇用拡大」による「新しい町づくり」にかけます。

「漁業権を放棄」、海は「あっ」という間に埋め立てられて、

「巨大プラント」が立ち並びました。

③72~ 昭和 38 年、「市原町」と「五井町」、「姉崎町」などが合併、

(5) 人口 7 万 3 千人の、「市原市」が誕生しました。

1963
文子

こえて、昭和 47 年、八幡公民館は「駅前整備事業」のため、

「創立の地」から「現在地」に移転しました。

④77~ 昭和 61 年、「市原支所」を併設して「リニューアルオープン」、

(5) 「体育館」、「図書室」、「視聴覚室」などを増設して
現在の姿になります。

1986~
文子

⑤83~ 平成 23 年、市原市は「市立公民館」の運営業務を

(3+x) 「指定管理者制度」へと移行し、

「八幡公民館運営委員会」が「受託」しました。

文子

そして、ことし平成 30 年、「創立 70 周年」の節目の年を迎えました。

「八幡公民館」は、「70 年の伝統」を踏まえた、

「地域文化の殿堂」として、「さらなる前進」をめざします。

完

創立 70 年展用撮影

八幡公民館全景、正面側写真

平成 30 年 12 月

市原の古文書研究会

八幡史学館チーム